

学校支援を積極的に進める

地域とともに宝を育てるPTA活動

美浜町立野間小学校PTA

1 はじめに

本校は、知多半島南部にある美浜町の南西部に位置する。校区内には、平治の乱(1160年)に敗れた源義朝の最期の地である大御堂寺(野間大坊)や野間埼灯台(野間灯台、1921年設置)、小野浦・野間・若松の海水浴場、南愛知カントリークラブ等の名所・旧跡が多くあり、歴史に育まれた自然豊かな地域である。住民の多くが本校の卒業生や元PTAであることもあり、小学校にとっても協力的である。今年度の児童数は101名、PTA会員は76世帯、8学級(含 特支学級2)の小規模校ではあるが、児童は恵まれた環境の中、健やかに育っている。



【野間のシンボル野間埼灯台】

2 研究への取組

(1) 研究のねらい

「子どもは地域の宝」「学校は宝を育てる場」。野間小学校区の各種団体は、従来から小学校の教育活動に積極的に関わり、さまざまな支援を行っている。しかし、地域の過疎化に伴い人口は漸減し、高齢化も相まって各種団体は組織や活動を見直さざるをえない時期にきている。PTAも例外ではなく、世帯数が減少するに伴い、従来の活動を維持することは困難になってきた。PTAの組織や活動を見直すとともに、地域の諸団体との連携をより密にしていく必要がある。地域の諸団体の組織に現役PTAや元PTAが入り、学校への支援を積極的に行うとともに、地域の活性化を推進していく。

(2) PTAの組織と地域団体との関係

① PTAの組織と主な活動

令和2年度、学年と地区から選出していた委員を学年からのみにし、委員の人数を18人に減らした。4部あった部会は3部に改編し、活動の見直しを行った。令和4年度は委員を12人にする予定。

部 会	主 な 活 動 (令和2・3年度)
広 報 部	広報「みさき」
文 化 部	芸術鑑賞会、ハイキング
厚生・校外指導部	交通当番、ラジオ体操、資源回収、校庭整備作業

(令和元年度は、プール当番、図書館整備、音楽鑑賞会も実施)

② P T A と地域団体との関係

団 体	行事・学校支援	参加 P T A
青少年を育てる会	ハイキング、標語募集、交通立哨、パトロール	全 P T A 委員
学区会	区民運動会	全 P T A 委員
教育後援会	各種学校行事の支援	P T A 有志
公民館運営委員会	公民館まつり、体験活動	P T A 役員
海の子文庫	読み聞かせ会	元 P T A 会員
祭り保存会	学習支援	現元 P T A 会員
旅館組合	学習支援、フグ会食	現元 P T A 会員
商工会青年部	環境整備、校内消毒	現元 P T A 会員

3 実践活動の概要

(1) ラジオ体操

「新しい朝が来た♪」。夏休みの野間地区の朝は、ラジオ体操の軽快な音楽で始まる。例年7会場に分かれ、地域の方とともに心地よい汗をかいている。出席カードに押印したり放送を流したりするのは、事前に当番可能と申し出た保護者。今年度は、コロナ禍ということもあり、開催日を4日間に減らしたが、どの会場も盛況だった。



【地域みんなでラジオ体操】

(2) 資源回収

地域に呼びかけ資源回収を行っている。一昨年度までは、P T A 委員が中心となって地域を回っていたが、昨年度からは、回収期間を1週間にし、「原則、小学校への持ち込み」にした。回収量の減少を心配したが、区長会のご協力もあり例年並みの量を回収することができた。



【資源を持ち込む地域の方】

(3) 校庭整備作業

2学期が始まる前に、運動場や校舎周りの環境を整えることを目的に保護者と児童と一緒に除草作業や石拾いを行っている。コロナ対策から昨年度は保護者のみで行った。今年度は緊急事態宣言が発令されたため急遽中止になったが、有志を募り草刈機による除草作業を行った。



【慣れた手つきで草刈機】

(4) 「野間小学校区青少年を育てる会」での活動

青少年を育てる会は、小学校区のほとんどの団体や校区在住の町議会議員・民生委員・保護司などで組織されている。小学校PTAは、前年度と現役の会長・副会長・母代が役員や部長・副部長を務め、会の中心となって活動している。

① ふれあい活動部…史跡巡りハイキング

前年度のPTA会長が部長を務め、PTA文化部が中心となり、野間小学校区内の名所・旧跡を巡るハイキングを行っている。受付は区長会、交通立哨は区と老人会、休憩時のゲームはスポーツ推進委員が担当し、PTAはチェックポイントでの押印やクイズ、飲食物の配布等を行っている。例年、200人を超える参加で校区の一大イベントとなっている。新型コロナウイルスの影響で昨年は中止となったが、今年度は参加者を小学生と小学生の家族に絞り実施した。



【家族と一緒にハイキング】

② 広報部…広報「はつらつ」の発行と標語募集

前年度のPTA母代が部長を務め、PTA広報部が中心となり、年3回の広報の発行、交通安全や青少年健全育成の標語募集を行っている。標語募集は、夏休みに行うので、児童の作品募集の自由課題にもなっている。毎年応募を楽しみにしている地域の方も多く、今年度は児童の部、保護者・一般の部を合わせて、100点ほどの作品が集まった。

③ 指導部…交通立哨、あいさつ運動

前年度のPTA副会長が部長を務め、PTA厚生・校外指導部が中心となり、「0の日（毎月10日・20日・30日）」や「あいさつの日（毎月8日）」に、児童が登校する時刻に合わせて、交通量が多い交差点で交通立哨とあいさつ運動を行っている。PTAは、全世帯が年に2日参加している。老人会や民生委員等のなかには、自主的に毎日、見守り活動を行ってくださっている方も複数いらっしゃる。

④ 愛のパトロール部

PTA会長が副部長を務めている。令和2年度、それまでPTA会長や保護司、民生委員等で組織し長期休業中に駅や海水浴場等のパトロールを行っていた補導部と、愛知県警公認で青色回転灯パトロールを行う自主防犯組織「愛のパトロール隊」を合併して、活動を強化した。会で作成した「愛さつ・ふれ愛・助け愛」のステッカーを自家用車に貼り、常時活動として防犯活動や青少年の健全育成の啓発を行っている。



【野間を明るく平和な町に】

(5) 区民運動会

野間学区では、全区民参加の運動会を小学校と合同で行っている。5区で5チームを作り、チーム対抗種目や小学生種目、保育所種目、自由参加種目で、スポーツの秋を区民が一体となって楽しんでいる。令和2・3年度は中止となったが、例年、PTA委員全員が実行委員として企画・運営に携わっている。



【勝負を離れて皆でダンス】

(6) 公民館活動

野間公民館では、公民館利用団体から運営委員を出し、区民向けの各種催しを企画・運営している。小学校・PTAからも運営委員を出し、小学生を対象にした工作や料理教室等を開催している。公民館まつりでは、多くの小学生や保護者がボランティアとして運営に携わっている。

(7) 現・元PTA会員が中心になった各種団体による学校支援

① 「海の子文庫」の読み聞かせ

平成5年、それまでも児童への読み聞かせを行っていた当時の母代やPTA委員が中心になって「海の子文庫」を結成した。以来、毎月1回、大放課に児童への読み聞かせを行っている。

② 「祭り保存会」の学習支援

平成23年、青年団が中心となって山車を建造し、「祭り保存会」が結成された。会の中心の3人が全員元PTA会長ということもあり、毎年、小学校の生活科や総合的な学習、社会科等で山車の見学やお囃子体験、祭りの話等を積極的に行っている。

③ 「旅館組合」の学習支援

観光地でもある野間には多くの旅館があり、どの旅館も冬はフグ料理を名物にしている。食育の一環として、小学生のいる旅館でフグさばきの実演をしたり、フグ料理を6年生にふるまったりしている。

④ 「商工会青年部」による学校支援

小学生のいる会員が中心になって、毎年、小学校の環境整備を行っている。令和2・3年度は、校舎内の消毒作業を行った。

4 おわりに

この2年、新型コロナウイルスの影響で地区の行事はほとんどが中止になった。しかし、地区の各種団体は「小学生には思い出を残してやりたい」「小学校に何かをしたい」と、さまざまな支援を行った。本PTAも工夫して、何とか活動を継続したが、地域の方々の理解と協力により実施できたことが多い。改めて、「子どもは地域の宝」を認識することができた。また、従来通りのPTA活動はできなくても、地域と連携をすることにより、質を落とさずに「地域の宝を育てる」ことは可能であることを実感することができた。